

■第4節 取り組みの方向1

計画名: 住環境形成計画



良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち

◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	土地利用の基本方針にうたわれた理念の実現を図るため、逗子が潜在的に持つ優れた価値と原風景を再認識し、大局的長期的視点に立ち、住む人にも訪れる人にも優しく、にぎわいとくつろぎ、そして安らぎが生まれる人間らしいスケールのまちをめざします。 基本的に低層のまち並みの形成を基盤とする中で、地域ごとの整備方針に基づき、地域のまちづくりを進めます。
---------	--

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	目標1の土地利用方針について、2016(平成 28)年度に実施した都市計画基礎調査の分析・検討や、沼間三丁目における都市計画変更図書を作成し、縦覧や公聴会を実施した後、県に法定経由協議書類を提出するなど順調に進捗している。 目標2・3・4については各目標に対して結果的に遅延しているが「住環境形成計画」の策定を優先して取り組んだことから、4年間の総括としての取り組みは概ね順調と考える。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	B
審議会・懇話会等の総括意見(個別計画の懇話会等が作成)	・目標2・3については目標が達成されいないため、C評価とし、目標4については、必要に応じて改正をしているためA評価とする。	審議会等が妥当と考える評価区分	

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2(施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	
-----------------	---	-----------------	--

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★中期実施計画に向けた土地利用方針が決定されている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	都市計画基礎調査を5年おきに実施	平成28年度基礎調査実施のための基本図修正を実施	都市計画基礎調査を実施	都市計画基礎調査の分析・検討を実施	都市計画基礎調査の分析・検討を実施
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	★地区まちづくり計画が3箇所策定されている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	★都市計画(用途地域)による、敷地面積の最低限度の基準を導入し、運用する。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。
目 標 に対 する 評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審 議 会 等 が 妥 当 と 考 え る 評 価 区 分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 4	★まちづくり条例の改正による新たなまちづくりの方向性が提示されている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	2014 年 4 月 一部改正済	2014 年 4 月 一部改正済	2016 年 12 月 一部改正	2016 年 12 月 一部改正済	2016 年 12 月 一部改正済
目 標 に対 する 評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審 議 会 等 が 妥 当 と 考 え る 評 価 区 分	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第4節 取り組みの方向2

計画名: 安全安心アクションプラン

災害に強く、犯罪のない安全なまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	高齢化が進む住宅都市として、「自らの命は自ら守る。皆のまちは皆で守る。」という意識の浸透、自主防災組織の充実及び避難行動要支援者に対する地域での助け合いの取り組み等を広げ、市民自らの防災力の向上を図ります。さらに、情報伝達体制の整備や津波対策の充実、河川の改修等を進め、地震や大雨等の自然災害に強いまちづくり、狭あい道路の整備や消防力の充実など都市災害を防ぐまちづくりを進めます。 また、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図り、地域の安全は地域で守るという意識を高め、防犯環境に配慮した環境整備を図り、誰もが安心して暮らすことができる、犯罪の起きにくいまちづくりをめざします。
---------	---

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	避難行動要支援者避難支援計画の推進から見守りの体制づくりが進んだことや、防犯対策事業への取り組みが進んだことから、目標1から5及び7についてはある程度達成できたと思う。目標6は関係者との調整がつかず事業が遅れている。総合的には「取り組みの方向」に向けた取り組みがある程度達成できたと思う。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	B
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)	避難行動要支援者や防犯の取り組みにより、自治会や自主防災組織、住民への自助・共助に対する意識の浸透・向上が図られたと感じる。引き続き体制の維持に努められたい。目標6については地域住民との調整が進まないとのことだが、個別計画の理念を総合的に判断すると取り組みについてはある程度達成できたと思う。	審議会等が妥当と考える評価区分	B

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	B
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★避難行動要支援者の個別支援プランが30パーセント作成されている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プラン作成の構築にあたり地域と情報共有を行った。	個別支援プランの作成支援は未着手。対象者の名簿を作成し、同意確認を実施した。	自主防災組織等91団体のうち、6団体32名の個別支援プランが提出され0.86パーセント達成されている	同意者数2,659名に対し、個別支援プランが提出されているのが55名により、約2.1%である。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	地域安心安全情報共有システムの登録者数が14,000人になっている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	11,132人	11,820人	12,520人	13,312人	14,144人
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	★地域安心安全情報共有システムの防犯情報の登録者数が 10,000 人になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	8,979 人	9,562 人	10,233 人	10,959 人	11,706 人
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 4	自主防災組織の加入率が 80 パーセント以上になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	73.74%	73.65%	74.00%	74.09%	74.17%
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 5	(仮称)安全安心アクションプランが策定されている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	策定に着手していない。	策定に着手した。	安全安心に関する懇話会を設立した。	安全安心アクションプランを策定した。	終了
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 6	田越川準用河川未整備区間の改修工事に着手している。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 7	防犯活動団体の数が 95 団体になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	95 団体	95 団体	96 団体	97 団体	96 団体
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第4節 取り組みの方向3

計画名: 歩行者と自転車を優先するまちアクションプラン

歩行者と自転車を優先するまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	自動車交通がもたらす交通事故や交通公害、混雑などを解決するためには、環境負荷の低減を図り、自動車の過度な利用を抑制し、公共交通機関や歩行者、自転車の安全性や利便性、快適性を高める必要があります。 わたしたちは、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすことにより、豊かで快適、安全な、生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)の高いまちづくりを実現します。
---------	---

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	市道への自転車誘導マーク設置、広報ずしでの周知、イベント後援、ステッカー配布など、できることから進めているが、商業者との意見交換等は行ったものの、予算なしによりカーフリーデーは実施できず、歩行者・自転車・自動車の共存方法の具体的な方策が示せなかった。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	C
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)	特になし	審議会等が妥当と考える評価区分	C

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	C	審議会等が妥当と考える評価区分	C
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★限られた道路空間における、歩行者・自転車・自動車の共存の方策が実施されている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	アクションプランの周知、啓発活動に取り組んだ。	カーフリーデー導入は、2016年度からとし目標達成に向けた準備を実施した。	雨天により中止となったものの、カーフリーデーを実施できる状態まで準備を進めた。	歩行者自転車WSメンバーとの共催で、カーフリーデーを実施した。	商業者との意見交換等は行ったものの、予算なしによりカーフリーデーは実施できず、歩行者・自転車・自動車の共存方法の具体的な方策が示せなかった。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	「まちづくりに関する市民意識調査」による居住地域の現在のイメージで、「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」が10パーセント以上になっている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	—	—	—	3.3%	3.6%
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない	

※「まちづくりに関する市民意識調査」は2014年度、2015年度、2016年度未実施。

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	「まちづくりに関する市民意識調査」による居住地域の現在のイメージで、「自転車を利用しやすいまち」が 10 パーセント以上になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	—	—	—	7.2%	8.2%
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施。

目 標 4	自転車の走行位置を示す自転車誘導マークの主要道路への設置が 30 箇所になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	13 箇所
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 5	自転車・オートバイ駐輪場の収容台数が 3,700 台になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	3,106 台	3,336 台	3,350 台	3,448 台	3,448 台
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第4節 取り組みの方向4

計画名: 公共施設等総合管理計画《未策定》



都市機能の整った快適なまち

◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	市民の安全で快適な都市生活を維持し、拡充を図るため、高齢化の急速な進展や多様化する社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能の整備が必要です。 本市の財政状況や限られた土地の利活用の視点、高齢化等への配慮から施設の複合化や多機能化、バリアフリー化を図り、また、地震をはじめとした自然災害等を考慮した都市機能の再編・再整備を計画的に進めます。
---------	--

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	神武寺トンネル改良工事やマンホールトイレ設置工事等を実施し、都市機能の整備を図ってきた。一方、(仮称)JR 東逗子駅前用地活用計画は、計画に変更が生じたため、目標達成に向け順調であるとはみなせない。 総合的には「取り組みの方向」に向けたこの間の取組みの達成状況は十分でないとする。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	①
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)		審議会等が妥当と考える評価区分	

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	B
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★(仮称)JR 東逗子駅前用地活用計画のもと、施設整備を行う。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	計画の策定に着手していない。	用地の活用に向けて、有力な事業実施手法である PPP/PFI について職員間で情報共有を図った。	事業スケジュールを見直した。	基本構想の策定に向け、庁内プロジェクトチームの検討結果を報告書としてまとめた。	基本構想(案)を作成し、市民説明会を開催した。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	★市営住宅のバリアフリー化率が100パーセントになっている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	67%	67%	67%	67%	87%
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	2003(平成 15)年に策定した逗子市交通バリアフリー基本構想に基づき、対策の必要な市道の 17 箇所すべての工事が完了している。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 4	神武寺トンネルの歩道幅員を2メートルに拡幅する。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	0.87m	0.87m	0.87m (工事施工中)	2.00m (工事しゅん工)	2.00m
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 5	管渠及び処理場・ポンプ場施設において、長寿命化対策工事及び地震津波対策工事を実施している。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	浄水管理センター管理棟の耐震補強工事完了	浄水管理センター流入渠・放流渠・バイパス管の耐震補強実施設計を行った。	マンホールトイレシステム設置工事及び処理場内EXP・J耐震補強工事の完了。処理場内の一部において長寿命化及び耐震補強工事を実施中	浄水管理センターの第1・2系列処理棟耐震補強工事及び第3系列水処理設備改築工事完了	マンホールトイレシステム設置工事及び2015年度に設計した流入渠・放流渠・バイパス管等耐震補強工事の一部を実施した。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第4節 取り組みの方向5

計画名: 商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画《未策定》



地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち

◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。 自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。
---------	---

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	逗子海岸の海水浴客数が順調に推移し、ファミリービーチを保っている。施策で立てている計画策定の目標は、緊急財政対策の影響もあり、達成できていない状況だが、引き続き情報収集や関係機関のヒアリングを実施し策定に努める。 総合的には「取り組みの方向」に向けたこの間の取り組みの達成状況はある程度達成できたと考える。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	B
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)		審議会等が妥当と考える評価区分	

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	C
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★逗子海岸が安全で快適なファミリービーチとして維持されており、海水浴客数が40万人を超えている。				
実績	2014年度 201,300人	2015年度 237,200人	2016年度 329,000人	2017年度 294,300人	2018年度 364,000人
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	★(仮称)商工業振興計画が完成し、推進されている。				
実績	2014年度 策定に向けた調査・研究に着手していない。	2015年度 策定に向けた情報収集等を始めている。	2016年度 策定に向けた情報収集等を行っている。	2017年度 策定に向けた情報収集等を行っている。	2018年度 策定に向けた情報収集等を行っている。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	★(仮称)小坪海浜地域活性化計画が完成している。				
	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
実 績	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた情報収集等を始めている。	策定に向けた情報収集等を始めている。
目 標 に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 4	「まちづくりに関する市民意識調査」における年に数回以上逗子海岸を利用する人の割合が、70 パーセント以上になっている。				
	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
実 績	—	—	—	67.2%	65.9%
目 標 に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施。

■第5節 取り組みの方向1

計画名: 市民自治推進計画《未策定》

市民自治のまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	逗子のまちづくりを担っているのは、市民一人ひとりです。市民が、自分のことだけでなく、他人や地域、自然のことを自分のことのように考え、行動することができる市民の姿が望まれます。 また、逗子に住み、働き、学び、交わるあらゆる主体が、地域の一員として、考え、行動し、それぞれの関係の中で互いの理解を深め、担い合い支え合うことにより、心豊かな市民自治のまちを実現します。
---------	---

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	住民自治協議会は4小学校で設立し、積極的な活動が行われているが、各施策で立てている目標は、すぐに到達できるものは少なく、全体の結果として達成できたものは少ない。今後も市民協働を推進し、将来的に目標が達成できるよう努力する。 総合的には「取り組みの方向」に向けたこの間の取り組みの達成状況は十分とは言えないと考える。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	C
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)		審議会等が妥当と考える評価区分	

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	C	審議会等が妥当と考える評価区分	C
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★(仮称)自治基本条例が施行されている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	検討に着手していない。	(仮称)自治基本条例の調査研究の一環として、職員向けの行政課題研修を実施した。	市民参加のワークショップ(2016～2017年度にかけて全16回開催予定)を全8回開催した。 学識等による検討会(2016～2017年度にかけて全5回開催予定)を2回開催した。	市民参加のワークショップを8回開催し、予定していたワークショップが全て終了した。 学識等による検討会を4回開催し、検討会での検討が全て終了した。	行政内部で条例案のブラッシュアップを行った。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	★5小学校区すべての住民自治協議会において、地域の課題解決の取り組みが行われている。				
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実績	1 小学校区で設立	2 小学校区で設立	3 小学校区で設立	4 小学校区で設立	4 小学校区で設立
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	★(仮称)市民協働推進条例が施行されている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	検討に着手していない。	検討に着手	条例制定に向けて検討中	条例制定に向けて検討中	条例制定に向けて検討中
目 標 に対 する 評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 4	市民が行政計画の達成状況等を検証する仕組み等、まちづくりの主体となって参加できる仕組みが機能している。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	仕組みを検討	個別計画・基幹計画等の策定推進に関わっている市民による「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	住民自治協議会のメンバーがあらたに参加し、「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。	「まちづくりネットワーク会議」を2回(春・秋)開催した。
目 標 に対 する 評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目 標 5	「ふれあい活動」の拠点が民設民営を含め20箇所になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	2箇所	2箇所	2箇所	4箇所	4箇所
目 標 に対 する 評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第5節 取り組みの方向2

計画名: ずし男女共同参画推進プラン

誰もが尊重され、自由で平等なまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	その人の持つ「個性や固有の人格そのもの」や「能力」が尊重され、それらが十分に発揮できるまちづくりを推進し、誰もが、性別、国籍、障がい等によって差別されることなく人権が尊重され、自由で平等な参画が保障されているまちをめざします。
---------	---

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	幅広い年代への啓発を、いろいろな視点を持って企画、実行できた。各施策で立てている目標は、すぐに到達できるものは少なく、全体の結果として達成できたものは少ないが、各職員が事業を企画、運営するうえで、目標を意識することにより、将来的に目標が達成できるよう努力する。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	Ⓑ
審議会・懇話会等の総括意見(個別計画の懇話会等が作成)	目的達成に向かい、小さなステップ(地道な啓発)を踏んでおり、条例制定に向け準備しているものと評価する。成果が見えるのは先のことであるが、より具体的に色々なことを行っていく必要があると感じるので、これまで行っていることを削るのではなく、継続していったほしい。	審議会等が妥当と考える評価区分	Ⓑ

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2(施策体系別)	A	審議会等が妥当と考える評価区分	A
-----------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★(仮称)ずし男女共同参画推進条例が制定されている。				
実績	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	後期基本計画の中で条例制定を目標として掲載	新たに策定したプランに条例制定を明記	情報収集に着手	条例制定に向け、情報収集を行った。	条例制定に向け、情報収集を行った。
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	市が実施する「男女共同参画社会に関する市民意識調査・実態調査」において「男女の地位が平等になっている」と感じる人の割合が25パーセントを超えている。				
実績	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	22.2%	—	—	17.3%	16.3%
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

※「男女共同参画社会に関する市民意識調査・実態調査」は5年毎の調査。2017・2018年度は、「逗子のまちづくりに関するアンケート調査」により実施。

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	人権(子どもの人権も含む)に関する講演会等への参加者が年 200 人になっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	152 人	196 人	184 人	168 人	217 人
目 標 対 する 評 価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第5節 取り組みの方向3

計画名: 情報化推進計画《未策定》

情報化で、よりよく暮らせるまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)を積極的に活用することにより、暮らしに関わるあらゆる分野において、より便利で質の高い暮らしができるまちをめざします。 また、情報化の推進により、あらゆる主体が、自らの活動を発信し、コミュニケーションを豊かにすることで、よりよくつながり、いきいきと暮らせるまちをめざします。
---------	--

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	平成 30 年7月の情報連携完全開始が滞りなく実施された。また、市ホームページ等から積極的に情報発信を行っており、データの2次利用についても推進しており、目標に向け順調に推移している。 総合的には「取り組みの方向」に向けたこの間の取り組みの達成状況は達成できたと考える。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	A
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)		審議会等が妥当と考える評価区分	

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	A	審議会等が妥当と考える評価区分	A
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標 1	★(仮称)情報化推進計画が完成し、推進されている。				
	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
実績	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していないが、県の策定状況を注視している。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標 2	逗子市ホームページへの訪問数が年 100 万件になっている。				
	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
実績	1,006,845 件	1,371,737 件	1,270,352 件	1,474,247 件	1,412,553 件
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	「まちづくりに関する市民意識調査」における「市の情報の入手方法」として「逗子市ホームページ」の割合が 50 パーセントになっている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	-	-	-	20.8%	20.8%
目 標 対 する 評 価	☐ (a) 順調である ☒ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施。

※「逗子市ホームページ」及び「Web 版広報ずし(逗子市ホームページ掲載)」の割合を集計

目 標 4	オープンデータの公開が開始され、二次利用が可能な形式で提供されている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	2種類	6種類	6種類	6種類	6種類
目 標 対 する 評 価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

■第5節 取り組みの方向4

計画名:国際交流推進計画《未策定》

世界とつながり、平和に貢献するまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)の進化や移動時間の短縮化など、科学技術のめざましい発展を背景に、世界との距離は加速度的に近くなっています。 市民の誰もが国際性を身につけ、池子米軍家族と培ってきた日米親善交流を礎に、さらに多くの世界の人々や都市との交流、協力を進め、逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします。
---------	---

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

4年間の取り組みに係る総括コメント	国際交流や非核平和のテーマで様々な講座等を開催し、目標達成に向け順調に推移している。池子米軍家族住宅内イベント周知等行っているが、小学校との交流は実施に至らなかった。 総合的には「取り組みの方向」に向けたこの間の取組みの達成状況はある程度達成できたと考える。	個別計画の評価1 (4年間の取り組みに係る総括評価)	B
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)		審議会等が妥当と考える評価区分	

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	A	審議会等が妥当と考える評価区分	A
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★池子米軍家族住宅内小学校との交流が年2回以上実施されている。				
実績	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。
目標に対する評価	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☒ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

目標2	★市が主催または共催の非核平和に関するイベントへの参加者数が年 3,000 人になっている。				
実績	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,260 人	1,980 人	1,494 人	1,909 人	1,928 人
目標に対する評価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が妥当と考える評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	

【個別計画進行管理総括表-1】

目 標 3	国際交流イベントなど外国籍市民との交流の場が年2回以上実施されている。				
実 績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	実施されていない。	2回実施 (主催1回、共催1回)	4回実施 (全て共催)	3回実施 (全て共催)	3回実施 (全て共催)
目 標 対 する 評 価	☒ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない		審議会等が 妥当と考える 評価区分	☐ (a) 順調である ☐ (b) 概ね順調であるとみなせる ☐ (c) 順調であるとみなせない	